

# システム変更等のお知らせ

(2004.5.11 - 2004.7.5 変更)

システム運用係

1 ハードウェア ... なし

2 ソフトウェア ... なし

2.1 HI - UX / MPP ; mpp-s, mpp-p, mpp-bt ... なし

2.2 VOS3 / FS ; m-vos ... なし

2.3 HI - OSF / 1 - MJ ; m-unix ... なし

2.4 HI - UX / MPP ; batch ... なし

3 その他

3.1 HI-UX/MPP for SR8000 マニュアル Web 閲覧サービスについて

2004年6月1日より、Web上にてSR8000マニュアルのWeb閲覧サービスを開始しました。本センターでサービスしているSR8000に関してWebブラウザでマニュアルを閲覧することができます。

利用方法等の詳細については、本誌別記事「HI-UX/MPP for SR8000 マニュアル Web 閲覧サービスのお知らせ」、又は本センターWebページを御覧下さい。

## FORTRAN で C プリプロセッサを使用する際の注意

FORTRAN プログラムを C プリプロセッサ (cpp コマンド) を通して次のようにコンパイルする場合、

```
cpp test.F > test.f
f77 test.f
```

プログラム中に"//"を用いた次のような文字列連結文があると、

```
a = 'ABC'//'DEF'
```

"//"以降がコメントとみなされ次のように変換されます。

```
a = 'ABC'
```

この現象は、2000年9月にC9X仕様で定義される一部機能(//形式コメントなど)がCコンパイラに追加されたため発生します。

上記への対処方法として `cpp` コマンドに `-c` (大文字) オプションを付加して下さい。

```
cpp -C test.F > test.f
```

Makefile では `cpp` コマンドのオプションにあたる環境変数に `-c` を指定することも有効です。

```
CPPFLAGS = -C
```

なお、`f77` (または `f90`) コマンドの場合、`-cpp` オプションを付加する (またはソースファイル名の末尾を `.F` にする) ことで `C` プリプロセッサを通してコンパイルできますので、なるべくこちらを御使用下さい。

`-cpp` オプションを付加

```
f77 -cpp test.f
```

ソースファイル名の末尾が `.F` (`F` が大文字)

```
f77 test.F
```